

令和7年度使用中学校用教科用図書（「教科名 特別の教科 道徳」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
特別の教科 道徳	光村図書	○基礎・基本の定着に関わって 第1教材で、道徳科とは何を学ぶ教科なのかを紹介している。対話を重視し、多面的・多角的な見方で道徳的な価値について考えていく学習であることを明示し、1年間の見通しをもって、授業に臨めるよう工夫している。 ○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 一人一人異なる興味・関心をもつ生徒が意欲をもって教材に向かえるよう、生徒の発達の段階に沿った多様な題材を取り上げている。内容の見せ方も多様で、生徒の幅広い興味・関心に対応できるよう配慮されている。 ○内容の構成・配列に関わって 学校生活の実態と生徒の成長を考慮して、1年間で複数の教材をまとめたユニットで構成されている。ユニットのテーマに沿って、教材を通じて学ぶ内容項目は、緩やかに関わり合いながら学びがつながるように配列されている。 ○内容の表現・表記に関わって 中学校以上配当の常用漢字、常用外漢字の全てに振り仮名を付しており、全学年を通して読みの負担を軽減するための配慮が行き届いている。また、教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵・写真が適所に配されている。特に、読み物教材の挿絵においては、中心的な発問の場面に必ず挿絵が配されている。 ○言語活動の充実に関わって 各学年、読みの負担を軽減し、話し合いの時間を十分に確保するため、道徳的な問題が起こっている場面そのものを、挿絵と短い文章で端的に示した教材を採用したり、事前学習を促したりしている。また、他者と話し合うことで多様な考え方に触れ、そのよさを実感し、自分の考えが広げられるような工夫がされている。 ○本校の研究に関わって 問題を解決するステップが明示され、これからの人生に生かすことのできるアプローチの一つとして、解決に向かう考え方が学べるように工夫されており、課題解決型の学習として、各教科での研究に活用できる。